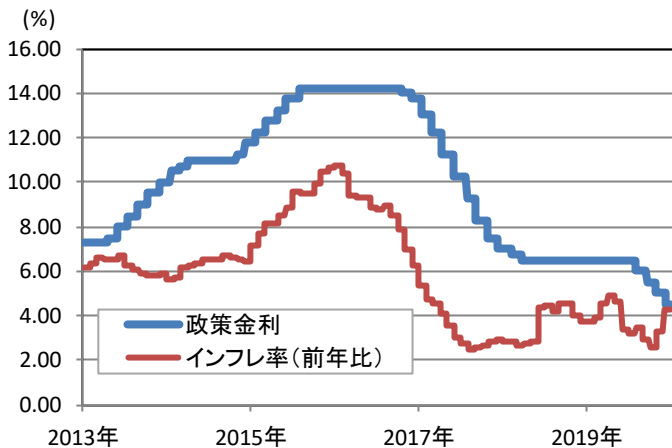


## ブラジルの政策金利の引き下げについて

2020年2月5日（現地時間）、ブラジル中央銀行は、COPOM（金融政策委員会）において、Selic（政策金利）を0.25%引き下げ、年率4.25%とすることを決定しました。

市場の予想通り5会合連続利下げし、過去最低の4.25%とすることを決定しました。今後は過去最大規模の金融緩和サイクルによる物価への影響を見極めるため金利を据え置くことを示唆しました。ブラジルの経済指標は回復傾向を示しており、COPOMではブラジル経済が穏やかに回復するとその基本シナリオを示しました。世界経済見通しについては、足元不透明感が増しているものの、主要経済大国が追加的刺激策を継続しており、新興国経済にとって比較的好ましい状況にあるとしました。

ブラジルの政策金利とインフレ率の推移  
 (2013年1月1日～2020年2月5日)



\* 政策金利: Selic を使用。

\* 出所: ブラジル中央銀行、ブルームバークのデータよりBNPパリバ・アセットマネジメント株式会社作成

ブラジルの政策金利と変化幅

日付	政策金利 (%)	変化幅 (%)
2019年7月31日	6.00	-0.50
2019年9月18日	5.50	-0.50
2019年10月30日	5.00	-0.50
2019年12月11日	4.50	-0.50
2020年2月5日	4.25	-0.25

### 本資料のお取り扱いにおけるご注意

- 本資料はBNPパリバ・アセットマネジメント株式会社が上記の時点で作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。